

娘の父親に対する嫌悪感と父親の魅力との関係

● 阿 部 洋 子

目 的

(1) これまで、女子大学生を対象として、安定した因子構造を持つ「父親に対する嫌悪感尺度」を得たいと考えて調査を実施しており(阿部：2016、2017)、今回の調査で残す質問項目を決定したいと考えた。(2) 父親に対する娘の嫌悪感の高さは、両親の不仲が関係しているかについても、引き続き検討を加えることで、娘自身が父親に対して持つ嫌悪感か、母親が夫に対して持つ嫌悪感を娘自身が自分のものとして感じているかどうかについて改めて検討を加えたい。

(3) 娘の父親に対する嫌悪感を低減させる要因の一つとして、娘からみた父親の魅力が、どのように関係しているかについて検討することを目的とした。

方 法

1. 調査対象者と調査時期

関東地方にある大学生(1・2年生)女子55名(19~20歳、平均年齢=19.31歳、SD=0.47)に対し、平成29(2017)年6月8日、授業時間中に、質問紙を配付し、調査者が口頭で調査の説明および協力依頼を行った。その際、倫理的配慮として、調査への協力は任意であり、協力の無い場合も不利益を被らない(例えば、成績には無関係であることなど)、回答は無記名であり、結果は統計的に処理を行うため、個人の回答が特定されないことなどを伝えた。また質問文を読み、調査対象者が心理的負担を感じた場合は、直ちに調査用紙への回答を中断してよいこと。調査用紙の回収は授業時間終了時に、教室の前方の机の上に、ランダムに置いてもらうようにし、個人が特定できないよう配慮することも伝えた。更に、同一の説明内容を、調査用紙の表紙にも明記した。以上、調査用紙への回答をもって、調査への同意を得たものとした。

2. 質問紙の構成

(1) 父親に対する嫌悪感尺度：これまでの調査(阿部：2016、2017)で用いた、菅生(2001)の「父親への嫌悪感尺度」21項目について、「全く気にならない：1点」から「非常に嫌だ：5点」までの5件法で回答を求めた。更に、「嫌悪感尺度」とは別に「父親に対して嫌悪感を抱いたことがあるか」について、「はい、いつも：4点」、「はい、時々：3点」、「ほとんどない：2点」、「全くない：1点」の4件法により、「嫌悪感の程度」について回答を求めた。

(2) 夫婦仲の尺度：両親の仲がどの程度良いかについて「仲が悪い：1点」から「仲が良い：5点」までの5件法で回答を求めた。更に、前回の調査(阿部：2017)の調査で用いた、夫婦仲が良いあるいは悪いと思うかについて「いつも喧嘩をしている」、「母親が父親のことを嫌っている」、「母親が離婚を時々口にする」など20項目について複数選択を可として回答を求めた。

(3) 小野寺(1984)の「娘からみた父親の魅力尺度」15項目と、「娘の父親との日常的接触行動」12項目について、いずれも「全くそう思わない：1点」から「非常にそう思う：4点」までの4件法で回答を求めた。

(4)フェイスシートとして、年齢、学年、きょうだい順位、父親の職業について回答を求めた。

結果

1. 父親に対する嫌悪感得点と因子構造 (表1)

(1) 父親に対する嫌悪感得点

父親への嫌悪感尺度の21項目について得点化を行った。嫌悪感が強ければ高得点になるように「全く気にならない」を1点、「非常に嫌だ」を5点とした(21~105点)。その結果、21項目の中で、嫌悪感得点が高かったのは「No.4 あなたの布団(ベッド)でお父さんが昼寝をする」(Me.=3.655点(SD=1.493))、「No.13 お父さんが使った割り箸を使う」(Me.=3.200点(SD=1.626))、「No.20 お父さんがあなたに「女らしくなったね」と言う」(Me.=2.982点(SD=1.446))、「No.8 お父さんがおなら・げっぷを遠慮なくする」(Me.=2.855点(SD=1.508))、等の8項目であり、父親との間接的な接触や、父親が性にまつわる話をする項目などであった。これらの結果は、これまでの調査結果(阿部:2016, 2017)と同様であった。

一方、嫌悪感得点が低かったのは、「No.16 お父さんと一緒にテレビを見ながら話をする」(Me.=1.691点(SD=1.169))、「No.6 あなたの下着とお父さんの下着を一緒に洗う」(Me.=1.764点(SD=1.088))、等の7項目であり、さり気ない会話と洗濯にまつわる項目などであった。これらの結果も、これまでの調査結果(阿部:2016, 2017)と同様であった。

(2) 父親に対する嫌悪感の因子構造

次に、この尺度の構造と調べるために、因子分析(主因子法、バリマックス回転)を実施した。その結果、スクリー法により4因子が抽出された。

第1因子は「No.10 熱がある時、お父さんがあなたのおでこに手をあてる」、「No.9 お父さんがだらしない恰好でごろごろする」、等に高い因子負荷量を示した。7項目からなるこの因子を「だらしなさ・身体的接触」に関する嫌悪感と命名した。

第2因子は「No.13 お父さんが使った割り箸を使う」、等に高い因子負荷量を示した。6項目からなるこの因子を「飲食に関わる接触」に関する嫌悪感と命名した。

第3因子は「No.16 お父さんと一緒にテレビを見ながら話をする」、等に高い因子負荷量を示した。5項目からなるこの因子を「会話」に関する嫌悪感と命名した。

第4因子は「No.21 洗濯後のお父さんの下着をたたむ」、等に高い因子負荷量を示した。3項目からなるこの因子を「身体全体の間接的接触」に関する嫌悪感と命名した。

2. 父親に対する嫌悪感の高低と両親の仲の良し悪しの関係

父親に対する嫌悪感の高低と両親の仲の良し悪しの関係を検討するために、「父親に対して嫌悪感を抱いたことがあるかについて」、「はい、いつも」、「はい、時々」と回答した29名(52.75%)と「全くない」、「ほとんどない」と回答した26名(47.27%)と、両親の「仲が良い」と回答した40名(72.73%)、「仲が悪い」と回答した15名(27.27%)の間でカイ自乗検定を実施した。その結果、嫌悪感の低い群では両親の仲が良い者が26名(47.27%)であり、両親の仲が良い群において父親に対する嫌悪感得点が低い者が多いという傾向がみられた($\chi^2=8.8627$, $p<0.01$, $df=1$ (Yatesの補正 $\chi^2=7.1493$, $p<0.01$, $df=1$))。

3. 娘からみた父親の魅力の得点と因子構造

(1) 父親の魅力の得点

父親の魅力尺度の15項目について得点化を行った。魅力を強く感じていれば、高得点になるように「全くそう思わない」を1点、「非常にそう思う」を4点とした(15~60点)。その結果、15項目の中で、父親の魅力得点が高かったのは、「No.1 父親の容姿を人に自慢したい」(Me.=3.145点(SD=0.826))等の7項目であり、一方、父親の魅力得点が低かったのは、「No.12 経済的に我が家の生活を支えてきてくれた人である」(Me.=1.527点(SD=0.979))、等の経済人としての魅力に関する2項目と、「No.15 母のことをとても愛している人である」(Me.=2.273点(SD=1.079))、等の両親間の親和に関する2項目であった。

(2) 父親の魅力の因子構造

「父親の魅力」15項目について因子分析(主因子法、バリマックス回転)を実施した結果、3因子が抽出された。

第1因子は「No.14 困った時には一番頼れる人である」、「No.10 思いやりのある人である」などに高い因子負荷量を示した。8項目からなるこの因子を「人間的魅力・経済人としての魅力」と命名した。

第2因子は「No.1 父親の容姿を人に自慢したい」、「No.2 背広を着たときの姿は素敵である」などに高い因子負荷量を示した。4項目からなるこの因子を「異性としての魅力」と命名した。

第3因子は「No.3 母のことをとても愛している人である」、「No.4 父と母とは気持ちの通じ合った夫婦である」、「No.15 父と母は素直に意見を言い合える夫婦である」に高い因子負荷量を示した。3項目からなるこの因子を「両親間の親和」と命名した。

4. 娘からみた父親との日常的接触行動の得点と因子構造

(1) 日常的接触行動の得点

父親との日常的接触行動尺度の12項目について得点化を行った。接触行動が強いと感じていれば、高得点になるように「全くそう思わない」を1点、「非常にそう思う」を4点とした(12~48点)。その結果、12項目の中で、父親との日常的接触行動得点が高かったのは、「No.24 子供の頃、頬ずり、頭をなでる、抱く、キスをするなどをしてくれた」(Me.=2.436点(SD=1.067))、等の親としての接触行動に関する5項目であった。接触行動得点が低かったのは、「No.26 あなたの化粧、服装についていろいろ注文をつける」(Me.=1.582点(SD=0.789))、等の異性を感じさせる関わり行動の6項目であった。

(2) 日常的接触行動の因子構造

「父親との日常的接触行動」の因子分析(主因子法、バリマックス回転)を実施した結果、2因子が抽出された。

第1因子は「No.25 誕生日を今でも忘れずにいてくれ、プレゼントやカードをくれる」等に高い因子負荷量を示した。8項目からなるこの因子を「社会人として語り、親としての行動をとる父親」と命名した。

第2因子は「No.21 父の好みの女性のタイプについて話をする」等に高い因子負荷量を示した。4項目からなるこの因子を「異性としての父の自己開放性」と命名した。

5. 父親に対する嫌悪感と父親の魅力および日常的接触行動との関係

父親に対する嫌悪感の因子ごとの合計得点と、父親の魅力の3因子と日常的接触行動の2因子の各合計得点とで重回帰分析を実施した。その結果、父親に対する嫌悪感の第1因子 ($R^2=0.5344$) は、父親の魅力の第2因子 ($\beta=-0.2864$, $p<0.05$)、父親との日常的接触行動の第1因子 ($\beta=-0.7364$, $p<0.001$)。父親に対する嫌悪感の第2因子 ($R^2=0.4246$) は、父親の魅力の第1因子 ($\beta=-0.4123$, $p<0.05$)、父親との日常的接触行動の第1因子 ($\beta=-0.2931$, $p<0.10$)。父親に対する嫌悪感の第3因子 ($R^2=0.5530$) は、父親の日常的接触行動の第1因子 ($\beta=-0.7304$, $p<0.001$)。父親に対する嫌悪感の第4因子 ($R^2=0.3499$) は、父親の魅力の第1因子 ($\beta=-0.4020$, $p<0.05$)、父親との日常的接触の第1因子 ($\beta=-0.3223$, $p<0.10$) であり、父親の魅力や日常的接触行動が、父親に対する嫌悪感に対して抑制的に働くという結果を得た。

考 察

1. 父親に対する嫌悪感尺度

これまでの調査 (2016, 2017) と比較してみると、毎回、異なる因子構造が得られ、安定した結果が得られない。また因子負荷量は大きいものの、複数の因子に重複して抽出される項目が8項目みられる。これらを削除して調査を実施した方が安定した因子構造を得ることが出来るかもしれない。会話については、これまでの調査結果 (阿部：2016, 2017) と同様に、平均得点では「父親を感じさせる」会話 (「No17 一日の出来事についてお父さんと話をする」等) が低得点を示し、「男性を感じさせる」会話 (「No20 お父さんがあなたに「女らしくなったね」と言う」等) は高得点を示した。このように「会話」の内容は何でも良い訳ではなく、男性としてではなく、社会人の先輩としての内容、あるいは思い出話などが嫌悪感を生じさせないようである。また、これまでの調査結果 (阿部：2016, 2017) と同様に「No21 洗濯後のお父さんの下着をたたむ」や「No6 あなたの着とお父さんの下着を一緒に洗う」の平均得点は低いことから、「洗濯物を一緒に洗わないで欲しい」という娘の発言は、父親に対する嫌悪感が高いというパラメータになっているように思われる。更に「だらしなさ」に関しては、遠慮なしのおなら・げっぷは嫌悪感が高いが、家の中でごろごろしていることについての嫌悪感は低かった。これらのことから、家族ではあっても遠慮があっても然るべき行動があると思っている一方で、家の中でごろごろしている姿を見ることは、仕事などで疲れているのではないかと、娘なりに優しい眼差しを向けており、それほど嫌悪を感じないようである。「No11 酔っぱらって帰ってくる」ことは「だらしない」というよりは、むしろ健康に気遣うが故に、嫌だと感じているのかもしれない。

2. 両親の仲の良し悪しと嫌悪感得点についての検討

これまで (阿部；2016, 2017) と同様に両親の不仲は、父親に対する嫌悪感の高さと関係していることが分かる。娘は同一視の対象である母親から、父親に関する愚痴を聞かされることによって、父親に対する嫌悪感を形成していると考えられる。

3. 父親の魅力および日常的接触行動と父親に対する嫌悪感との関係

前回の調査 (阿部：2017) と同様に経済人としての父親の魅力 (「No12 経済的に我が家の生活を支えてくれた人である」等) は、その平均得点が低く、娘から魅力として高く評価されておらず、家にお金を入れることで父親の役割を果たしていると考えてはいけなことが推測される。また父親の魅力として平均得点が高いのは、外見や声という「男性としての魅力」や「頼

れる人」、「理想の男性」、「力仕事をする姿」などであった。これらは重回帰分析の結果、身体的接触に関する嫌悪感は、外見上、素敵であることで抑制され、飲食に関わる接触についての嫌悪感は、人間としての魅力が高いことによって抑制され、会話に関する嫌悪感は、社会人としての語りが頻繁にあることによって抑制され、身体全体の間接的接触についての嫌悪感は、「人間的魅力の高さ」と「社会人としての語りの頻度」によって抑制されるようである。

しかし、両親間の関係性についての項目（「No.4 父と母とは気持ちが通じ合っている」等）は、父親の魅力の因子としては独立して抽出されたものの、平均得点は高いとはいえなかった。両親の仲が良い者に、父親に対する嫌悪感得点が低い者が多い傾向がみられたが、母親と仲が良いという父親の魅力因子は、父親に対する嫌悪感を抑制する要因にはなっていないようである。

要 約

「父親に対する嫌悪感尺度」、「両親の仲の良し悪し」、「父親の魅力」、「父親との日常的接触行動」などに関する質問紙を用いて、女子大学生を対象に、調査を実施した。その結果、「父親に対する嫌悪感尺度」として、第1因子「だらしなさ、身体的接触」、第2因子「飲食関係の接触」、第3因子「会話」、第4因子「間接的接触」の4つの因子が抽出された。しかし、これまで、調査（2016、2017）の度に異なる因子構造が出てしまう。一方、娘が父親に対して嫌悪感を覚える行為としては、得点が高い行為は、父親が男性の視線で娘に語りかけることであり、得点が低い行為は、父親自身の日常の出来事を語るである。これらは、これまでの調査（2016、2017）でも安定した結果を得ている。今後は、質問項目として、得点の高低が安定している項目は残しつつ、自由記述などにより、新たな質問項目を作成する必要があると感じている。

「両親の仲の良し悪し」については、これまで通り、両親の不仲が、娘の父親に対する嫌悪感を高めることと関係していることが見出された。母娘一体感が、問題の背景にあるように感じる。

父親の魅力では「父親の人間的魅力」と「異性としての魅力」が、そして、日常的接触行動では「社会人として語り、親としての行動をとる父親」が、父親に対する娘の嫌悪感の各因子に対して抑制的に働くという結果を得ており、「経済的に支える」ことだけでは嫌悪感の抑制には繋がらないという結果を得た。こうしたことを父親教育の場で広める必要性を感じている。

引用文献

- (1) 阿部洋子 (2016). 父親に対する娘の嫌悪感. 跡見学園女子大学コミュニケーション文化, 10, 1-10.
- (2) 阿部洋子 (2017). 父親に対する娘の嫌悪感と両親の仲の良さおよび直接的コミュニケーション. 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 5, 1-13.
- (3) 小野寺敦子 (1984). 娘からみた父親の魅力. 心理学研究, 55, 289-295.
- (4) 菅生早映子 (2001). 父親に対する娘の嫌悪感について. 追手門学院大学心理学論集, 9, 11-17.

表1. 父親に対する娘の嫌悪感の因子構造 (主因子法、バリマックス回転)

質問項目	第1因子 だらしなさ、 身体的接触	第2因子 飲食関係の 接触	第3因子 会話	第4因子 間接的接触	平均	標準偏差	共通性
Q2.10 熱がある時、お父さんがあなたのおでこに手をあてる	0.7267	0.2983	0.1462	0.2885	2.400	1.559	0.7390
Q2.1 お父さんの肩をもむ	0.6670	0.2696	0.3626	0.1355	2.164	1.288	0.7206
Q2.5 電車であなたのすぐ隣にお父さんが座る	0.6377	0.1732	0.1927	0.4735	1.800	1.161	0.7040
Q2.14 お父さんが箸をつけた物を食べる	0.5742	0.4732	0.2971	0.2563	2.200	1.445	0.8046
Q2.9 お父さんがだらしない格好でごろごろする	0.5379	0.2195	0.2025	0.1420	1.964	1.333	0.6873
Q2.11 お父さんが酔っ払って帰ってくる	0.4404	0.1921	0.3377	-0.0359	2.418	1.287	0.5995
Q2.8 お父さんがおなら・げっぷを遠慮なくする	0.4319	0.3469	0.3932	0.1397	2.855	1.508	0.5912
Q2.13 お父さんが使った割り箸を使う	0.2209	0.7903	0.1381	0.2174	3.200	1.626	0.7726
Q2.12 お父さんが飲みかけの缶ジュースを飲む	0.3354	0.7235	0.1932	0.1935	2.691	1.538	0.7675
Q2.4 あなたが布団(ベッド)でお父さんが昼寝をする	0.1474	0.6548	0.0634	0.2811	3.655	1.493	0.7271
Q2.2 あなたが新聞を読んでいる時、お父さんがのぞき込む	0.2421	0.5624	0.2575	0.1121	2.800	1.432	0.5654
Q2.20 お父さんがあなたに「女らしくなったね」と言う	0.0477	0.5252	0.4743	0.2337	2.982	1.446	0.6100
Q2.3 お父さんのぬぐもりが残るところに座る	0.4118	0.5220	0.0893	0.4881	2.509	1.538	0.8618
Q2.16 お父さんと一緒にテレビを見ながら話をする	0.4447	0.0912	0.7281	0.2651	1.691	1.169	0.8255
Q2.17 一日の出来事についてお父さんと話をする	0.4118	0.1926	0.6457	0.3607	2.091	1.351	0.8217
Q2.15 居間にお父さんと二人きりである	0.4226	0.1628	0.6161	0.4155	1.927	1.274	0.8414
Q2.19 お父さんが自分の好みの女性のタイプについて話をする	0.1458	0.3565	0.6042	0.0691	2.582	1.512	0.7326
Q2.18 お父さんが自分の子どもの頃の話をする	0.5935	0.0382	0.6034	0.3065	1.891	1.272	0.8358
Q2.21 洗濯後のお父さんの下着をたたむ	0.1355	0.1892	0.2649	0.7527	1.891	1.301	0.6910
Q2.7 お父さんが入ったお風呂のすぐ後に入る	0.2984	0.3870	0.2065	0.6019	2.418	1.560	0.7117
Q2.6 あなたの着た下着とお父さんの下着と一緒に洗う	0.1506	0.3049	0.1376	0.8223	1.764	1.088	0.6582
固有値	3.8419	3.5413	3.1351	2.6895			
寄与率	18.29%	16.86%	14.93%	12.81%			
累積寄与率	18.29%	35.16%	50.09%	62.89%			

表2. 娘からみた父親の魅力の因子構造 (主因子法・バリマックス回転)

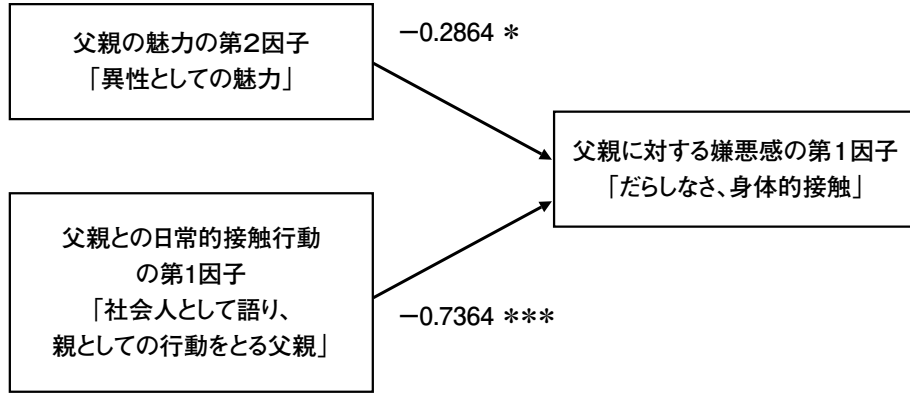
質問項目	第1因子 人間的魅力	第2因子 異性としての 魅力	第3因子 両親間の親和	平均	標準偏差	共通性
Q.4.14 困った時には一番頼れる人である。	0.7500	0.3019	0.1710	2.545	0.978	0.6300
Q4.10 思いやりのある人である。	0.7041	0.3666	0.3639	2.236	0.942	0.7913
Q4.11 1人の人間として尊敬できる人である。	0.6800	0.4216	0.3185	2.164	1.032	0.7465
Q4.9 家族のことをいつも気にかけてくれる人である。	0.6743	0.2141	0.4000	2.182	1.020	0.7014
Q.4.13 父は私の理想の男性である。	0.6371	0.3985	0.2726	2.982	0.991	0.6755
Q4.8 家で力仕事をする姿に男らしさを感じる。	0.6084	0.4098	0.0729	2.709	1.031	0.5766
Q4.6 父の仕事に対する態度はりっぱである。	0.4810	0.4654	0.2036	1.873	0.963	0.5555
Q4.12 経済的に我が家の生活を支えてきてくれた人である。	0.4363	0.0698	0.1683	1.527	0.979	0.3022
Q4.1 父親の容姿を人に自慢したい。	0.2328	0.8322	0.1386	3.145	0.826	0.7015
Q4.2 背広を着たときの姿は素敵である。	0.2454	0.7691	0.1497	2.909	0.986	0.6611
Q4.5 1人の男性としての生き方、人生観に共感する。	0.5148	0.6895	0.1986	2.636	0.969	0.7791
Q4.7 父の話し方、声は素敵である。	0.2345	0.6632	0.3048	2.764	0.942	0.6006
Q4.3 母のことをとても愛している人である。	0.2179	0.1699	0.8922	2.273	1.079	0.7691
Q4.4 父と母とは気持ちの通じ合った夫婦である。	0.2520	0.3356	0.8180	2.400	1.148	0.7992
Q4.15 父と母は素直に意見を言い合える夫婦である。	0.4326	0.1248	0.6346	2.127	1.123	0.6021
固有値	3.9060	3.3537	2.6141			
寄与率	26.04%	22.36%	17.43%			
累積寄与率	26.04%	48.40%	65.82%			

表3. 娘からみた父親との日常的接触行動の因子構造 (主因子法・バリマックス回転)

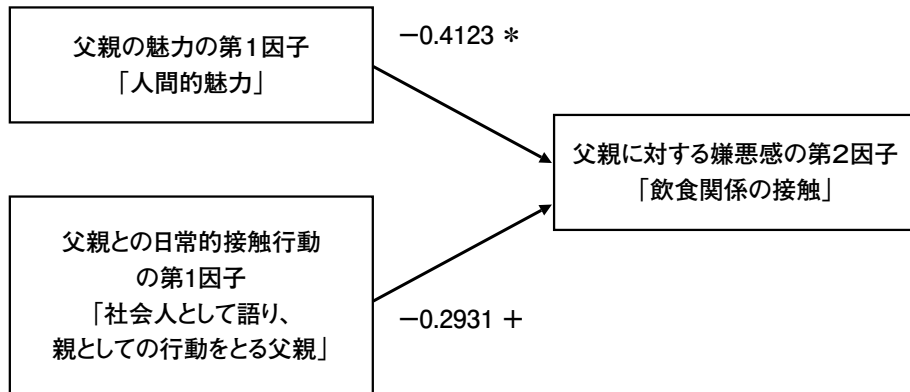
質問項目	第1因子 社会人として語り、 親としての行動 をとる父	第2因子 異性としての 父の自己開放性	平均	標準偏差	共通性
Q.4.25 誕生日を今でも忘れずにいてくれ、プレゼントやカードをくれる。	0.7998	0.0227	2.291	1.133	0.6134
Q.4.23 一緒にテレビを見ながら、番組についての話をする。	0.7604	-0.0581	1.800	1.043	0.5803
Q4.18 父親参観日、運動会、卒業式には来てくれた。	0.7321	-0.1268	1.800	1.026	0.6525
Q4.19 子供の頃、家族旅行、海、山、プール等に連れて行ってくれた。	0.6966	-0.1476	1.655	0.966	0.6557
Q4.17 父の子供の頃や学生時代の思い出について話をする。	0.6710	-0.0141	2.309	1.153	0.5128
Q4.24 子供の頃、頬ずり、頭をなでる、抱く、キスをするなどをしてくれた。	0.6593	0.0209	2.436	1.067	0.5702
Q4.16 父の仕事や職場の出来事について話をする。	0.6196	-0.0490	2.182	1.090	0.4875
Q.4.22 政治・経済問題の話をする。	0.4635	-0.1117	2.400	1.164	0.4178
Q4.21 父の好みの女性のタイプについて話をする。	-0.1025	0.9824	1.564	0.788	0.9769
Q4.26 あなたの化粧、服装についていろいろ注文をつける。	-0.1149	0.9795	1.582	0.786	0.9778
Q4.20 ボーイフレンドについて父の方から訪ねてくる。	-0.1730	0.8117	1.636	0.649	0.7217
Q4.27 ホルノ雑誌、小説などをあなたの目の前で読む。	0.0655	0.8061	1.255	0.700	0.6896
固有値	3.7806	3.2906			
寄与率	31.50%	27.42%			
累積寄与率	31.50%	58.93%			

父親に対する娘の嫌悪感の4つの因子と、
 父親の魅力の3つの因子、および父親との日常的接触行動の2つの因子との関係
 【重回帰分析の結果のパス図】(+ : $P < 0.10$, * : $P < 0.05$, *** : $P < 0.001$)

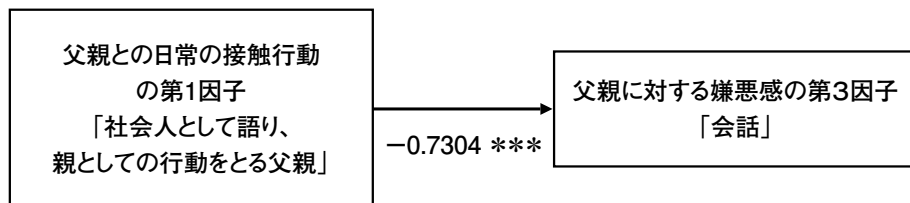
修正 $R^2=0.5344$



修正 $R^2=0.4246$



修正 $R^2=0.5530$



修正 $R^2=0.3499$

